

No. **108** 2018. September **9/14(金).15(土).16(日)** 3:00 PM 開演

ハイドン:オラトリオ「天地創造」 Hob.XXI:2
Franz Joseph Haydn: Die Schöpfung (The Creation) Hob.XXI:2

新たなシーズンの幕開けは、佐渡芸術監督が“オーケストラとの関係を作る上で重要な作曲家”と話すハイドンから、オラトリオ「天地創造」。佐渡監督の信頼厚いソリストを招き、合唱、オーケストラが奏でる壮大なスケールの音楽。神による天地創造の過程を描いた傑作に、PACが挑みます。

幸田浩子(ソプラノ) 多数の国際コンクールで上位入賞し、ローマ歌劇場やウィーン・フォルクスオーパー等欧州の名門歌劇場に次々と出演。国内でもオペラ、オーケストラコンサート、リサイタル、メディア等幅広く活躍中。二期会会員。

吉田浩之(テノール) 瑞々しく伸びやかな美声と叙情性豊かな表現力で聴衆を魅了し、新国立劇場はじめ数々のオペラ公演や各地での第九公演、様々な声楽曲のソリストとして出演。伊・日本歌曲を集めたCD「プロローグ」は好評を博す。東京藝術大学教授。

キュウ・ウォン・ハン(バリトン) ソウル出身。ベルヴェデーレ国際声楽コンクールはじめ多数受賞。第16回定期フォーレ「レクイエム」、第48回定期「ドイツ・レクイエム」、第60回定期オルフ「カルミナ・ブラーナ」、第83回定期「ベートーヴェン第九」出演。



指揮・芸術監督 佐渡 裕 Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director
ソプラノ 幸田浩子 Hiroko Kouda, Soprano
テノール 吉田浩之 Hiroyuki Yoshida, Tenor
バリトン キュウ・ウォン・ハン Kyu Won Han, Baritone
合唱 オープニング記念第9合唱団 Opening Beethoven 9th Commemorative Chorus

No. **109** 2018. October **10/19(金).20(土).21(日)** 3:00 PM 開演

〈オール・ベートーヴェン・プログラム〉
Ludwig van Beethoven

序曲「コリオラン」ハ短調 op.62
Coriolan Overture in C minor, op.62

交響曲 第3番 変ホ長調 op.55 「英雄」
Symphony No.3 in E flat major, op.55, “Eroica”

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」
Piano Concerto No.5 in E flat major, op.73, “Emperor”

「英雄」と「皇帝」というベートーヴェンの名曲が一度に聴ける、魅力的なプログラム。指揮はPAC定期6年ぶりのブラジル生まれのクルス。そして「皇帝」のソリストは、アルゼンチン生まれ、日本デビュー50周年と円熟の時を迎えたゲルバー。熱く華やかなベートーヴェンの世界にご期待ください。



指揮 クラウディオ・クルス Claudio Cruz, Conductor
ピアノ ブルーノ=レオナルド・ゲルバー Bruno Leonardo Gelber, Piano
クラウディオ・クルス(指揮) 現在ユース・サンパウロ響音楽監督、カルロス・ゴメス弦楽四重奏団第一ヴァイオリン奏者。ヴィラ=ロボス室内管、リベイラン・プレート響、カンピーナス響の音楽監督を歴任。五嶋みどり、ダン・タイ・ソン、ネルソン・フレレ、アントニオ・メネセス、マリア・ジョアン・ピリスら多数共演。
ブルーノ=レオナルド・ゲルバー(ピアノ) 現代を代表する世界的ピアニストのひとり。19歳で仏政府の奨学金を得てパリに留学。演奏を聴いたマルグリット・ロンは「あなたは私の最後の、しかし最高の生徒になるでしょう」と語った。日本には1968年に初来日しており、今回が50周年記念ツアーとなる。

No. **110** 2018. November **11/9(金).10(土).11(日)** 3:00 PM 開演

〈オール・ドヴォルザーク・プログラム〉
Antonín Dvořák

チェロ協奏曲 口短調 op.104
Cello Concerto in B minor, op.104

交響曲 第7番 ニ短調 op.70
Symphony No.7 in D minor, op.70

PAC定期4度目の登場、ウィーンで生まれ育ち、長いキャリアを重ねた今もなお、貴公子の佇まいを持つ指揮者アルミンク。今回は名旋律の宝庫、ドヴォルザーク・プログラムで、気品溢れる音楽性を披露します。チェロ協奏曲のソリストは、PAC初登場、個性豊かな音と表現で世界の聴衆を魅了するイッサーリス。



指揮 クリスティアン・アルミンク Christian Arming, Conductor
チェロ スティーヴン・イッサーリス Steven Isserlis, Cello
クリスティアン・アルミンク(指揮) ウィーン生まれ。小澤征爾のもとで研鑽を積む。スイスのルツェルン歌劇場及びルツェルン響音楽監督を経て、2003~13年まで新日本フィル音楽監督、2011年より国立リエージュ・フィルハーモニー管の芸術監督を務める。
スティーヴン・イッサーリス(チェロ) 世界中から称賛されるイギリス出身の名チェリスト。ベルリン・フィルなど超一級の楽団や指揮者からのオファーは引きもみらず、当代の名手と共演する室内楽も活発に行う。現代音楽や子供のための活動にも力を入れている。名誉大英勲章3位(CBE)を受章。

No. **111** 2019. January **1/18(金).19(土).20(日)** 3:00 PM 開演

イディッシュ・ラプソディー
Yiddish Rhapsody

ベルリオーズ:幻想交響曲 op.14
Hector Berlioz: Symphonie fantastique, op.14

佐渡芸術監督がPAC定期での共演を熱望していたシルバ・オクテットがついに登場。名門パリ管弦楽団のメンバーを中心に結成されたイデュッシュ音楽の演奏集団が、新しい音楽体験を届けます。後半はバリ管の十八番、ベルリオーズ「幻想交響曲」。若きPACはバリ管の名奏者を迎え、どんな飛躍を見せるのか!



指揮・芸術監督 佐渡 裕 Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director
ゲスト シルバ・オクテット & イザベル・ジョルジュ(歌) Silba Octet & Isabelle Georges
シルバ・オクテット リシャール・シュムクレールが2003年に結成した八重奏団。6人のパリ管弦楽団の奏者たち、ピアニスト、ツインバロン奏者で構成。フランスのミュージカル・スターであるイザベル・ジョルジュと共に、クレズマー、ユダヤ音楽、ジブシー音楽のレパートリーに新風を吹き込むサウンドを生み出している。

No. **112** 2019. February **2/15(金).16(土).17(日)** 3:00 PM 開演

大澤壽人:交響組曲「路地よりの断章」
Hisato Ohzawa: Symphonic Suite “Les fragments de la ruelle”

ラウタヴァーラ:ヴァイオリンと管弦楽のための「ファンタジア」
Einojuhani Rautavaara: Fantasy for Solo Violin and Orchestra

ラヴェル:ツィガーヌ
Maurice Ravel: Tzigane (for Violin and Orchestra)

リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェエラザード」 op.35
Nikolai Rimsky-Korsakov: Scheherazade, op.35

レジデント・プレイヤーの岩村力が、PAC定期に登場。その熱く力強いタクトで、リムスキー=コルサコフの名オーケストレーションが光る「シェエラザード」、兵庫に縁の深い大澤壽人の作品などを奏でます。ラウタヴァーラ「ファンタジア」は、ソリストのマイヤースのために書かれた作品。



指揮 岩村 力 Chikara Iwamura, Conductor
ヴァイオリン アン・アキコ・マイヤース Anne Akiko Meyers, Violin
岩村 力(レジデント・コンダクター) 早稲田大学理工学部電子通信学科、桐朋学園大学演奏学科卒業。1995年・97年フェラーラ市立歌劇場の招待を受けクラウディオ・アバド氏の下研鑽を積む。2000-07年NHK響アシスタントコンダクター。2015年兵庫県労作者表彰(文化功労)受賞。
アン・アキコ・マイヤース(ヴァイオリン) 情熱的な演奏、音の純粋さ、深く詩的な解釈、現代曲に果敢に取り組む姿勢(ラウタヴァーラの「ファンタジア」世界初演&録音等)や様々なジャンルのアーティストとの共演で高く評価されている。ジュリアード音楽院でD.ディレイ等に師事。

No. **113** 2019. March **3/15(金).16(土).17(日)** 3:00 PM 開演

ベートーヴェン:「エグモント」序曲 op.84
Ludwig van Beethoven: Egmont, op.84: Overture

シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 op.54
Robert Schumann: Piano Concerto in A minor, op.54

ブラームス:交響曲 第1番 ハ短調 op.68
Johannes Brahms: Symphony No.1 in C minor, op.68

ライブツィヒ生まれの指揮者、フロール。2度目のPAC定期で披露するのは、ドイツ・ロマン派の系譜を追う名プログラム。重厚なブラームス・サウンドにご期待ください。シューマンの協奏曲では、アメリカ育ち、長年ドイツで学んだ若手ファンチが、みずみずしいピアニズムを披露します。



指揮 クラウス・ペーター・フロール Claus Peter Flor, Conductor
ピアノ クレア・ファンチ Claire Huangci, Piano
クラウス・ペーター・フロール(指揮) 1953年ライブツィヒ生まれ。ベルリン響音楽総監督、ミラノ・ヴェルディ響首席客演指揮者、フィルハーモニア管首席客演指揮者、チューリヒ・トーンハレ管芸術アドバイザー、マレーシア・フィル音楽監督を歴任。
クレア・ファンチ(ピアノ) 10歳でクリントン大統領の為に演奏を披露。2011年ミュンヘン国際音楽コンクール最年少出場で第2位。モーツァルト管、シュトゥットガルト放送響等と共演。シュレースヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭他多数の音楽祭に招かれる新時代を担う若きアーティスト。

No. **114** 2019. April **3:00 PM 開演**
4/19(金)・20(土)・21(日)

ストラヴィンスキー: バレエ音楽「プルチネッタ」組曲
 Igor Stravinsky: Pulcinella Suite

イベル: フルート協奏曲
 Jacques Ibert: Flute Concerto

デュカス: 交響詩「魔法使いの弟子」
 Paul Dukas: L'apprenti sorcier (The Sorcerer's Apprentice)

ドビュッシー: 交響詩「海」
 Claude Debussy: La mer



指揮
パスカール・ロフェ
 Pascal Rophé, Conductor

フルート
工藤重典
 Shigenori Kudo, Flute

パスカール・ロフェ(指揮) 1988年、プザンソン国際コンクール第2位。ブレーズ、ロバートソンとともにアンサンブル・アンテルコンタンポランを指揮するなど、現代音楽の分野で活躍。パリ管、BBC響、スイス・ロマン管、N響等に客演。フランス国立ロワール管音楽監督に在任中。

工藤重典(フルート) パリ国際フルートコンクール、ランパル国際フルートコンクール優勝。ザルツブルク・モーツァルテウム管、バイヤール室内管、N響など国内外の主要オーケストラと共演。フルート界の第一人者として、東京音楽大学、パリ・エコール・ノルマルにて後進の指導にもあたっている。

緻密な音楽づくりでPACメンバーから厚い信頼を集める名匠ロフェが、定期2度目の登場。デュカス「魔法使いの弟子」やドビュッシー「海」などフランス作品で、オーケストラから再び色彩豊かな音を引き出します。フルート協奏曲のソリストには、日本を代表する名手、工藤重典がPAC定期初登場!

No. **115** 2019. May **3:00 PM 開演**
5/24(金)・25(土)・26(日)

マルケス: ダンソン 第2番
 Arturo Márquez: Danzón No. 2

マルケス: トランペット協奏曲 ※共同委嘱作品(日本初演)
 Arturo Márquez: Trumpet Concerto *Co-Commission (Japan Premiere)

コーブラント: バレエ組曲「ロデオ」より
 Aaron Copland: Rodeo (Four Dance Episodes)

Ⅲ. 土曜の夜のワルツ Saturday Night Waltz
 Ⅳ. ホーダウン Hoe-Down

コーブラント: バレエ音楽「ビリー・ザ・キッド」組曲
 Aaron Copland: Billy the Kid: Suite



指揮
井上道義
 Michiyoshi Inoue, Conductor

トランペット
パーチョ・フローレス
 Pacho Flores, Trumpet

井上道義(指揮) ニュージーランド国立響首席客演指揮者、新日本フィルおよび京都市響音楽監督、大阪フィル首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリテック・クラブ賞」をトリプル受賞。

パーチョ・フローレス(トランペット) 1981年ベネズエラ生まれ。2006年モーリス・アンドレ国際コンクール第1位及び特別賞受賞の他、多数の国際コンクールで優勝。エル・システム出身。2011年小澤征爾の招きでサイトウ・キネン・オーケストラの首席奏者を務めた。

昨シーズンに続き定期公演に出演する井上道義が届けるのは、アメリカ大陸で生まれた鮮やかな作品たち。コーブラントのバレエ音楽ではマエストロのパワーと遊び心が炸裂しそう。ソリストはエル・システム出身のパーチョ・フローレス。メキシコ人作曲家マルケスのトランペット協奏曲は、日本初演です。

No. **116** 2019. June **3:00 PM 開演**
6/21(金)・22(土)・23(日)

ワーグナー(ヘンツェ編): 女声のための5つの詩
 「ヴェーゼンドク歌曲集」

Richard Wagner (arr. H.W. Henze): 5 Gedichte für eine Frauenstimme, "Wesendonck Lieder"

ブルックナー: 交響曲 第5番 変ロ長調
 Anton Bruckner: Symphony No.5 in B flat major



指揮
下野竜也
 Tatsuya Shimonon, Conductor

メゾ・ソプラノ
池田香織
 Kaori Ikeda, Mezzo Soprano

下野竜也(指揮) 鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年プザンソン国際指揮者コンクール共に優勝、読売日本交響楽団正指揮者、首席客演指揮者を経て、現在は、広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽常任首席客演指揮者。

池田香織(メゾ・ソプラノ) 慶應義塾大学法学部卒業。二期会オペラスタジオを経て声楽家となる。全国各地の劇場で話題の公演に出演。新国立劇場やびわ湖ホールにおける『リング』や二期会『トリスタンとイゾルデ』等、殊にワーグナー作品には欠かせない名歌手。二期会会員。

PAC定期おなじみのマエストロ下野は、長年取り上げ続けるブルックナーから第5番をセレクト。熱く統制力のある指揮で、今回もPACの若きメンバーを成長に導きます。ワーグナーが愛人マティルデ・ヴェーゼンドクの詩に曲をつけた「ヴェーゼンドク歌曲集」のメゾ・ソプラノは、初登場の池田香織。

色とりどりのプログラムをマイ・シートで気軽に愉しめる!
 PACオケを聴くには定期会員が絶対おトク!
定期会員券[9回通し券]受付開始!

一般発売 **4月15日(日)** 芸術文化センター会員先行予約開始 **B,C席 4月12日(木) A席 4月14日(土)**

「金曜通し券」「土曜通し券」「日曜通し券」をお選びいただき、同じお席で年間9回の定期演奏会をご鑑賞いただけます。

定期会員だけの特典はこちら!

- ① 1回券よりもお得な料金設定
- ② 室内楽演奏会を特別料金で
- ③ オーケストラ紹介パンフレットを進呈
- ④ 公開リハーサルへご招待
- ⑤ PACオリジナル・グッズをプレゼント

※公開リハーサルのご案内は、複数枚ご購入いただいた場合、お申込者本人に郵送いたします。予めご了承ください。

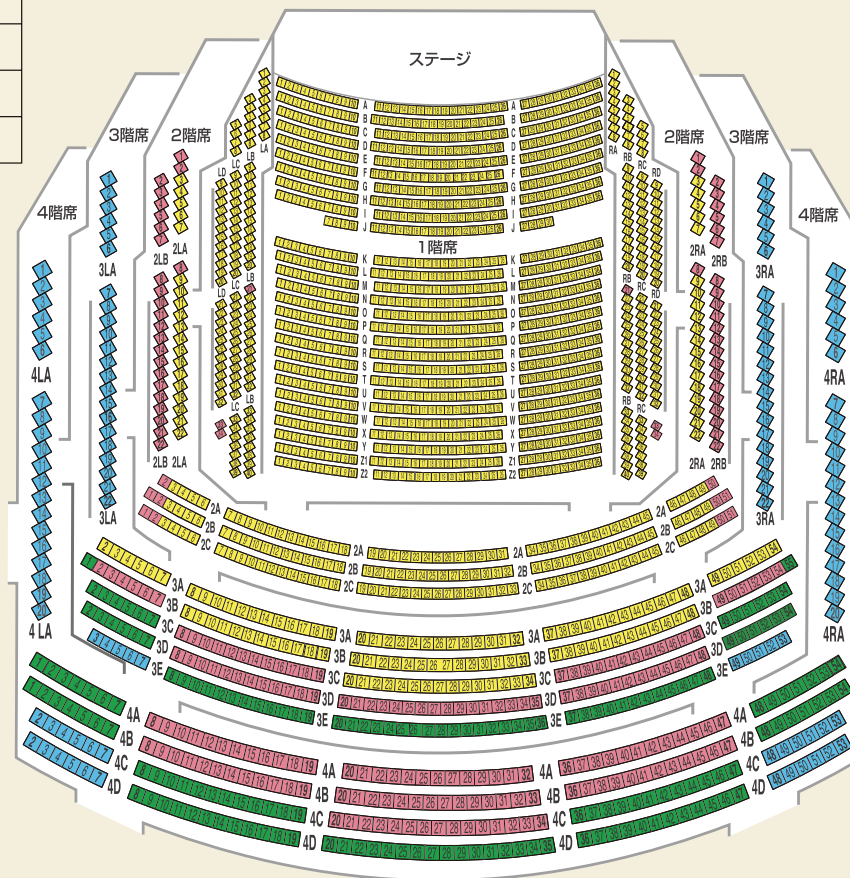
定期演奏会料金表

	定期会員券(9回通し券)	1回券
A	¥27,000(1回分単価¥3,000)	¥4,000
B	¥22,500(1回分単価¥2,500)	¥3,000
C	¥16,200(1回分単価¥1,800)	¥2,000
D		¥1,000

※D席は1回券のみの取り扱いとなります。
 ※1回券は6月より順次発売を開始します。

定期演奏会座席表

A B C D



ご予約方法

電話 Web **4月12日(木)~15日(日)**

電話 Web 窓口 **4月17日(火)~**

※定期会員券の発売は5月末をもって終了いたします。期間内でも各日予定枚数に達し次第、販売を終了させていただきます。
 ※引取り期間は窓口の混雑が予想されます。予めご了承ください。
 ※定期会員券をお求めいただくと先行予約会員にもご入会いただけます。

ご予約・お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255

(10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日)

<http://www.gcenter-hyogo.jp>

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

※未就学児童の入場はご遠慮ください。
 ※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。



先行予約会員募集中!
 詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からもホールまで15分
 (阪急電車特急乗車の場合)

- ◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
- ◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
- ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

